

## TOPIC <

～被災自治体への23区連携対応～

「令和4年8月3日からの大雨及び台風8号」  
「令和4年台風14号」・「令和4年台風15号」  
に係る被災自治体への支援

特別区は、大雨や台風で大きな被害に見舞われた以下の自治体に対して、23区共同で復興支援金を提供しました。

- ・令和4年8月3日からの大雨及び台風8号：青森県、石川県、新潟県
- ・令和4年台風14号：宮崎県
- ・令和4年台風15号：静岡県

### ～特別区が連携して対応した主な災害支援～

- 東日本大震災（平成23年3月11日）
- 平成28年熊本地震（平成28年4月14日～16日）
- 平成30年7月豪雨（平成30年7月）
- 平成30年北海道胆振東部地震（平成30年9月6日）
- 令和元年8月の前線に伴う大雨による災害（令和元年8月）
- 令和元年房総半島台風（令和元年9月）
- 令和元年東日本台風（令和元年10月）
- 令和2年7月豪雨（令和2年7月）
- 令和3年福島県沖を震源とする地震（令和3年2月）
- 令和3年7月1日からの大雨による災害（令和3年7月）
- 令和3年8月11日からの大雨による災害（令和3年8月）
- 令和4年福島県沖を震源とする地震（令和4年3月）

## TOPIC <

特別区全国連携プロジェクトの  
今後の方向性・展開（令和5年度～令和8年度）

特別区全国連携プロジェクトは、趣意書の公表以降、推進方針や中間のまとめを策定してプロジェクトを推進・展開し、連携自治体数の増加や連携協定の締結など、様々な広がりを見せてきました。一方で、プロジェクト開始時点では想定していなかった単自治体同士の連携では解決困難な環境などの諸課題が顕在化しており、このような課題の解決のためには複数自治体同士の連携が不可欠であると考えています。

令和5年度以降は、これまでの取組みを踏まえながら、23区と広域連携協定締結地域との連携協力の「間口」を広げることに加えて、新たな広域連携地域を開拓し、従来からの課題だけでなく、新たに顕在化した課題の解決に向け、個別・具体的で実効性のある連携事業を創出・支援・実施することをプロジェクトの方向性・展開として定め、次の3点を中心にプロジェクトを推進していきます。

- ◇新たな広域連携事業の創出  
複数の特別区と複数の自治体が広域で連携して取り組む事業の創出に取り組みます。
- ◇23区一体事業の推進  
23区が一体となって協定締結団体と行う事業をさらに推進していきます。
- ◇各々が実施する連携・交流事業のさらなる展開  
各々が実施する連携・交流事業への支援を推進し、さらなる展開を目指します。

特別区全国連携プロジェクト  
公式Twitter  
@Zenkoku\_Renkei

プロジェクトのイベント情報を発信するほか、連携している市町村のイベント情報なども発信します。

よろしければ、  
フォローを  
お願いします！



特別区全国連携プロジェクト【ホームページ】  
<https://collabo.tokyo-23city.or.jp/>  
最新情報やイベント情報などを随時更新!

パソコン・スマートフォン・タブレット  
からご覧いただけます

全国連携 Q検索



### 各自治体の皆さまへ「会員登録」のご案内

特別区全国連携プロジェクトは、全国自治体の皆様を対象に、会員専用のHPを用意しております。会員登録していただきますと、掲示板機能を使った東京23区との連携事業に関する情報交換や本HP上での貴自治体情報のPRが可能になります。※登録・利用は無料です。

### お問い合わせ

特別区全国連携プロジェクトに関するお問い合わせ

03-5210-9747

特別区長会事務局 調査第1課 全国連携プロジェクト担当

特別区全国連携プロジェクトの会員登録に関するお問い合わせ

03-5210-9080

公益財団法人特別区協議会 事業部事業推進課

特別区全国連携プロジェクトの事業実施にあたっては、特別区長会と公益財団法人特別区協議会が連携して取り組んでいます。

# 東京23区 TOKYO 23 CITY 全国連携NEWS

日本を元気に！  
23区から全国へ  
全国から23区へ



## 特別区 全国連携プロジェクトとは？

東京を含む全国各地域とともに発展・成長し、共存共栄を図ることを目的に、産業、観光、文化、スポーツなど様々な分野で特別区（東京23区）と全国各地域が連携・交流事業を行う取り組みとして、平成26年9月に特別区長会が立ち上げたプロジェクトです。

vol. 7

発行・編集：特別区長会・公益財団法人特別区協議会  
発行：令和5年3月28日

このNEWSは、東京23区が取り組む「特別区全国連携プロジェクト」を全国の多くの方々に知っていただくためのPR情報紙です。本紙は、次のHPからもご覧いただけます。  
特別区全国連携プロジェクトHP <https://collabo.tokyo-23city.or.jp/>  
特別区長会HP <https://www.tokyo23city-kuchokai.jp/>  
（特別区長会とは、東京23区間の連携を図り、特別区政の円滑な運営と特別区の自治の発展に資するため、昭和22年5月1日に設立された特別区23区長が組織する任意団体です。）

## 特別区長会との連携協定を通じて

千葉県市長会は、東京23区に千葉県の魅力を発信する機会・場の増加による千葉県の知名度の向上・来訪者の増加及び特別区長会を介しての全国各地との連携を期待し、特別区長会との連携協定を令和元年10月26日に締結しました。

また、千葉県に甚大な被害をもたらした令和元年の台風15号（令和元年房総半島台風）の際には、連携協定の締結前にも関わらず、特別区から被災地に対し、多大なご支援をいただきました。そして、特別区長会と連携協定を締結できることを大変心強く感じました。

千葉県は、美しい海岸線や豊かな自然に囲まれ、魅力的な観光地や多様な文化を有しており、豊富な農林水産物にも恵まれています。東京湾アクアライン、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）、鉄道等の交通網も充実しており、都心からのアクセスも良好です。また、日本の空の表玄関である成田空港や国際拠点港湾である千葉港を有しており、観光客や海外からの輸出入においても重要な拠点であります。

連携協定締結後から、新型コロナウイルスの影響によりイベントの中止やシンポジウム、講演会等のオンライン開催など、対面で行っていたイベント等が開催の中止や方法の変更を余儀なくされました。そのような中、令和4年11月9日から12月

22日まで、「魅力いっぱい ギュッと千葉」と題して、令和4年度第2回全国連携展示が東京区政会館1階エントランスホールにおいて行われ、千葉県内37市の魅力を「自然」「レジャー・体験」「歴史・文化」「街暮らし」のテーマで紹介していただきました。このイベントをきっかけに千葉県の新たな魅力を知り、興味をもって訪ねた方もいらっしゃると思います。また、展示だけでは伝えきれない様々な魅力が各市にありますので、直接訪れていただきたいと思います。



千葉県  
市長会会長（流山市長）  
井崎 義治

今後も、特別区長会との連携を通じて千葉県内の市の魅力を特別区及び全国各地へと発信し、様々な自治体や団体と互いの交流を深めていきたいと考えております。

特別区長会には、より多くの市長会・町村会との連携協定を締結し、連携している団体と交流する機会を作り、地方創生や地域課題の解決の一助となるような取組みを期待致します。また、その際には千葉県市長会も協力していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

EVENT

# 令和4年度 第2回全国連携講演会

## 「多文化共生のまちづくりに向けた連携のあり方を考える」

令和5年1月25日(水)

「多文化共生のまちづくりに向けた連携のあり方を考える」をテーマにオンライン講演会を開催し、104名の方にご参加いただきました。

会代表理事・土井佳彦氏の全体進行のもと、基調講演と事例紹介のほか、初めての試みとして登壇者と参加者がオンライン上でグループディスカッションを実施しました。

今回は、NPO法人多文化共生マネージャー全国協議

### 基調講演 多様化する外国人住民と自治体施策のこれから ～持続可能な地域づくりと多文化共生について～

一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事 田村 太郎 氏

#### 事例紹介

- ①企業等との連携による働く環境づくり 佐賀県での多文化共生の取組  
佐賀県国際交流部国際課長 井崎 和也 氏
- ②地域福祉から多文化共生へ～集住地域「知立市昭和地区」の事例から～  
愛知県知立市企画部企画政策課地方創生SDGs係長 佐藤 浩二 氏
- ③多文化共生推進における地域団体等との連携  
東京都台東区総務部人権・多様性推進課長 川島 俊二 氏



【全体進行】  
NPO法人多文化共生マネージャー  
全国協議会代表理事 土井 佳彦 氏

#### ブレイクアウトルーム（オンライン上のグループディスカッション）

- ①企業連携グループ（佐賀県 井崎氏）  
概要：外国人にとって働きやすい企業づくり、多文化共生の視点から見る大学と企業の連携など
- ②地域福祉グループ（知立市 佐藤氏）  
概要：地域づくりを進めるうえでの「つながり」の重要性、意思決定の場に多様な人材が参画することの必要性など
- ③地域コミュニティグループ（台東区 川島氏）  
概要：特徴の見えにくいコミュニティにおけるアプローチの方法など
- ④多文化共生全般グループ（特別区長会事務局 段塚）  
概要：地域の特色を活かした連携、テーマや課題を絞ったネットワーク・プラットフォームを構築することの有用性など

※本講演会の資料及び録画映像は特別区協議会HP/特別区全国連携プロジェクトHPからご覧いただけます。  
特別区協議会HP→<https://www.tokyo-23city.or.jp/> 特別区全国連携プロジェクトHP→<https://collabo.tokyo-23city.or.jp/>

## EVENT 令和4年度第2回全国連携展示（千葉県37市）

### 「魅力いっぱい ギュッと 千葉」

令和4年11月9日(水)～12月22日(木)

千葉県市長会との連携事業として、千葉県37市\*の魅力を紹介する展示を東京区政会館で開催しました。今回は、「市のイチオン情報」を「自然」「レジャー・体験」「歴史・文化」「街・暮らし」等のテーマごとに分けた紹介パネルを展示したほか、千葉県のPR映像の上映、各市のパンフレットの配布を行いました。

※千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、大網白里市



INFORMATION 令和5年6月17日(土)・18日(日)開催

多彩な東北が、熱い絆でひとつになる。

# 東北絆まつり 青森

青森ねぶた祭 // 秋田竿燈まつり // 盛岡さんさ踊り // 山形花笠まつり // 仙台七夕まつり // 福島わらじまつり



令和5年6月17日(土)・18日(日)の2日間、青森市で「東北絆まつり2023青森」(主催:東北絆まつり実行委員会)が開催されます。

「青森ねぶた祭」「秋田竿燈まつり」「盛岡さんさ踊り」「山形花笠まつり」「仙台七夕まつり」「福島わらじまつり」が合同で行う「東北絆まつりパレード」(インターネットでライブ配信予定)のほか、東北6市6祭りPRブース・協賛ブース・東北絆まつり展示、青森県内市町村PRブー

ス・グルメブース、青森に縁のあるアーティスト・伝統芸能・吹奏楽による音楽イベント等が行われる予定です。

「東北絆まつり」は、東日本大震災からの更なる復興と、その先の未来へ向けて前進するために始まり、2023年、青森市での開催で一巡となります。

東北の6つの祭りが青森に集結し、東北の勇気と未来への希望を発信します。東京23区・特別区長会は、「東北絆まつり」を応援しています。




**東北絆まつり  
公式HP**

詳細情報は下記URL  
または二次元バーコードから  
ご確認ください。

URL  
<https://tohoku-kizunamatsuri.jp/>

二次元バーコード



## EVENT 明治安田生命丸の内本社ビルでの全国連携展示（山梨県14町村）

### 「まるごと楽しむ とっておきの山梨 ～やまなしの魅力を感じよう、感動を味わおう～」

令和4年10月25日(火)～27日(木)

令和4年5月から6月にかけて東京区政会館で開催した全国連携展示（山梨県14町村）の巡回展示を明治安田生命丸の内本社ビルで開催しました。

※本展示は、特別区長会と明治安田生命保険相互会社との包括連携協定（締結日：令和4年3月29日）に基づく取組みの一環として、同社の協力により開催しました。

